

珪素重合ポリマー（グラス繊維網コート） A R C グラスコーティング 各種樹脂コーティング剤との違い

他社コーティング樹脂系乳化剤は生産工程中に油脂、脂肪酸エステルワックス類に常温硬化性樹脂又は熱硬化性樹脂原料を石油系溶剤或いは有機溶媒で初期に重合します。

次に界面活性剤、或いは安定剤を重合し、加温した熱水と共に温度 70～90 位で前記溶媒系と混合し製品化したものです。

製品中に酸化され易い脂肪酸、溶剤が界在しており塗布研磨後の状態維持は劣化の進行と共に、斑の発生や再処理の必要性が生じます。有効性の判断は末端ユーザーが決定すべきで、我々生産者が口をはさむ余地はありません。

唯A R C グラスコーティングは酸化される要素の原料素材は一切使用せず、有効な珪素原子群を架橋、共鳴の化学的重合を完成させた所謂グラスコーティング剤です。

磁気加工によって超微粒子の重合珪素群が緻密な硝子繊維網に組込まれたグラスコーティングです。

硬い表面（モース硬度6）と他に類のない光沢（光沢維持率131）を呈します。